

日本が、開戦から戦後処理まで世界情勢の影響下に置かれ、また近代戦争をくりひろげた第一次大戦日独青島戦争の正史を復刻

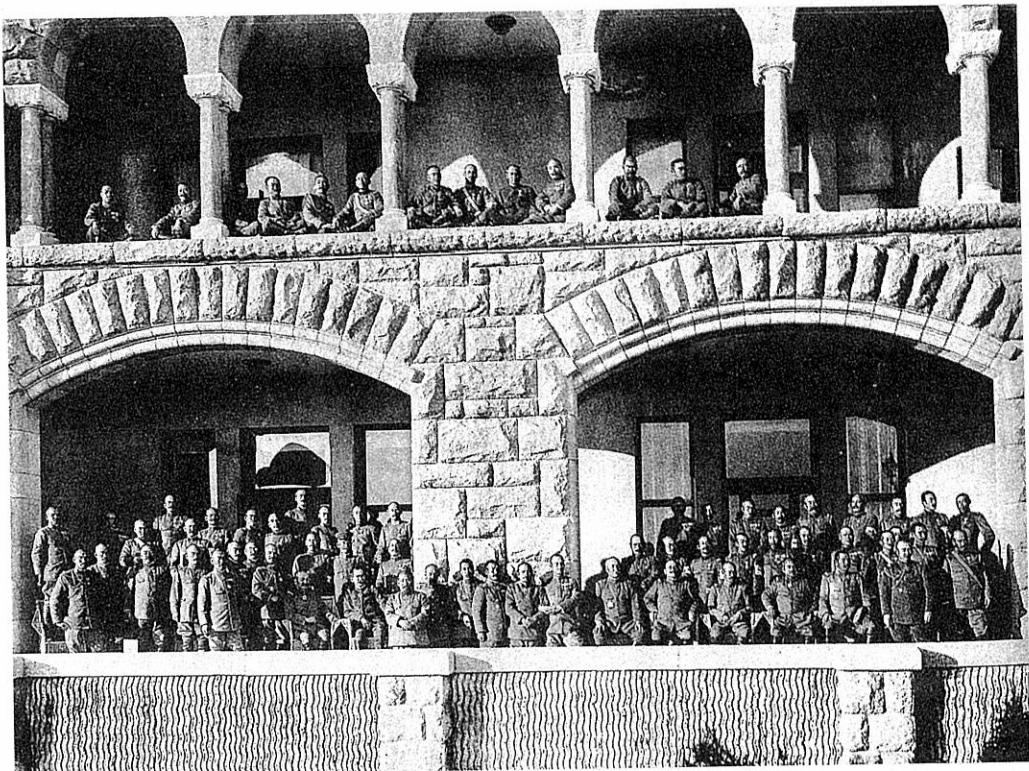
KINOKUNIYA ON DEMAND SERIES

秘 大正三年

日独戦史

全 4 卷 別巻 2 卷
CD-ROM 1 枚

■監修・解説 斎藤 聖二 茨城キリスト教大学教授



ゆまに書房

監修のことば

茨城キリスト教大学教授

齋藤 聖一

陸軍参謀本部編纂『秘 大正三年日独戦史 上下巻』は、現在、防衛庁防衛研究所戦史部図書室に所蔵されている。これは一九一六年に参謀本部の部内資料として印刷されたものである。

これまで日独青島戦争は、他の日本近代史上の戦争にくらべて軽視されてきた。戦闘期間が短く、比較的影響力も小さいと考えられてきたからである。しかし、軍事面でも国際政治面でも、青島戦争は決して看過することのできない重要性を持つている。本復刻版は、秘密事項を含んだ部内資料をはじめて一般にむけて出版するものであり、これによつて、日独青島戦争の分析・再評価が促されることを期待している。

また、別巻2『解説』は、日独青島戦争とはどのような戦争であったのかを明らかにすることを目的とし、できるだけ多くの周辺資料を掲げてこの戦争の全体像を示すことに心がけ、『秘 大正三年日独戦史』の読者ならびに資料としての利用者の利便をはかることをを目指したものである。今後、あらためて日独青島戦争が注目され、日本近代史上に正当な位置づけがなされることの一助となれば幸いである。

総目次

■上巻■

- ◇第一章 战争の原因第一節
- 第一節 独逸の東亜經營及青島の価値
- 第二節 日、独国交の断絶及列國の態度
- ◇第二章 日本軍の作戦計画及作戦経過の概要

- 第一節 東亜に於ける独、英両国の軍備及山東作戦地一般的地理及支那の軍備
- 第二節 青島要塞
- 第三節 山東作戦地一般的地理及支那の軍備
- 第四節 日本軍の作戦計画
- 第五節 作戦経過の概要
- ◇第三章 独立第十八師団の上陸及前進

- 第一節 師団の龍口上陸及平度に前進
- 第二節 師団の即墨付近に於ける開進

第四節 第三攻撃陣地の占領準備

- 第五節 第三攻撃陣地の占領及要塞の攻略
- 第六節 開城

第八節 開城より凱旋に至る迄自十一月七日

- 日至十二月二十五日の情況
- 第九節 通信
- 第十節 英国軍との関係

- 第一節 占領地の守備及軍政
- 第二節 凱旋
- (以上、下巻1に収録)

- ◇第八章 皇室の優典及賛賜、国民の志氣
- 第一節 皇室の優典及賛賜
- 第二節 国民の志氣

- (以上、上巻2に収録)
- 第一節 陸軍航空隊の行動
- 第二節 海軍航空隊行動概要
- 第三節 海軍航空隊行動概要
- 第四節 運輸通信
- 第一節 鉄道輸送
- 第二節 船舶輸送
- 第三節 軽便鉄道

●背景にある世界の情勢

- 日本が青島要塞のドイツ軍を攻めたのは、日英同盟に基づくものであり、戦闘の前後も含め、日、独、英、中の4国の利害が複雑に絡んでいた。戦後の処置についても欧米列強の干渉を受けた。これはこの時期、日本が国際社会の一員となつていたことを示す。
- 日本が行動を起こしたのは、中国に於ける権益の拡大というねらいがあるからであり、戦争遂行の過程においてもそうした行動をとつていた。勝利を収めたのち「対華二十一ヶ条要求」(一九一五年一月)を中国に要求したが、それは、中国の反日運動や欧米各国の干渉などを引き起す結果と

- 一九一四(大正三)年七月二八日、オーストリアがセルビアに宣戦布告。第一次大戦はじまる。
- 同年九月二日、ドイツ青島要塞に対し、日英同盟を理由に日本軍作戦開始。
- 同年一一月七日、青島要塞を攻略。
- 一九一五(大正四)年一月、日本は対華二十一ヶ条の要求を中国へ提出。
- 一九一八(大正七)年一一月一一日、ドイツ敗北し、大戦終わる。

●日独戦争とは……

●経緯

- 一九一四(大正三)年七月二八日、オーストリア

- がセルビアに宣戦布告。第一次大戦はじまる。

- 同年九月二日、ドイツ青島要塞に対し、日英同盟を理由に日本軍作戦開始。



内容と特色

★第一次大戦における日独戦争の克明な記録であり、基本文献である。

★今回特に、一般に頒布された「大正三年日独戦史」でなく、秘密事項を盛り込んだ本文二千四百頁に及ぶ「秘 大正三年日独戦史」（防衛庁防衛研究所戦史部所蔵）を底本とすることで、より詳細な記録を復刻した。

★軍事史のみならず、政治史、外交史、近代中国史などの研究に必須の資料。

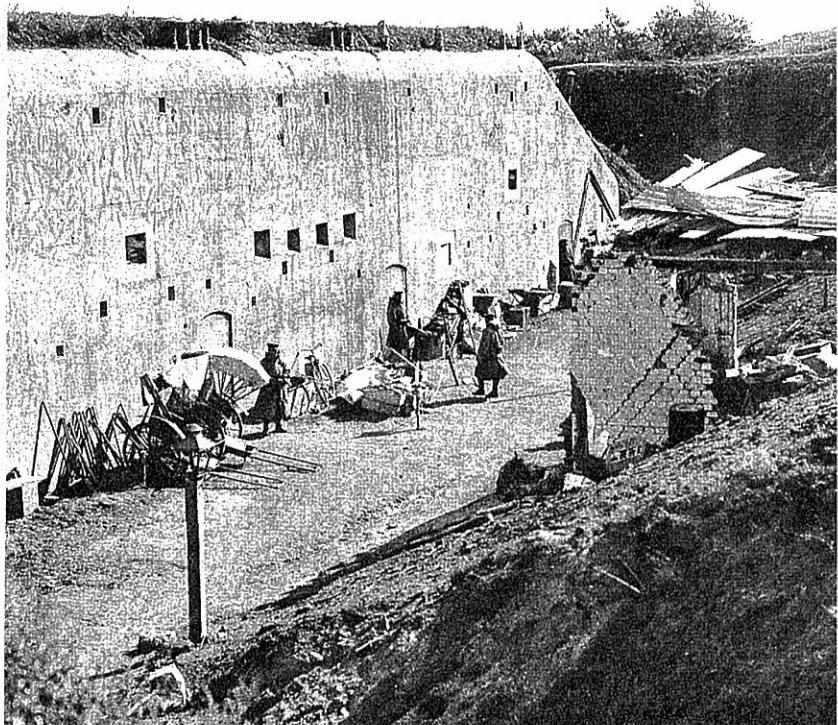
★本文のほか附録、二百一点の附表など多数の付属資料を収録している。

★当時の東アジア地域の情勢や日独両軍の配置、移動、戦闘の状況を詳細に示した多数の折り込みの四十三点の挿図および六十八点の附図がある。戦闘の実際を如実に示すとともに、当時の地名も詳細に記述されており、資料性が高い。これらを附表とともにCD-ROMにまとめて収録する。

★戦争の現実を如実に語る「写真帖」（写真百一点）を別巻1に収録。

★戦争の経緯と背景について二百頁におよぶ詳細な解説を別巻2に収録。イギリス軍の動き、中国人住民の被害状況なども各国の資料を使って跡付けている。

部 蔽 掩 壘 堡 央 中 十 三 第



◇第四章 石門山付近及孤山、浮山付近の戦闘
第三節 攻囲陣地の占領

第一節 石山門付近の戦闘
第二節 孤山、浮山付近の戦闘

第一節 給養
第二節 衛生
第三節 行李及輜重

第一節 山東鉄道会社一般の情況
第二節 山東鉄道押収に関する経過の概要
第三節 膜州の占領
第四節 金沢支隊の山東鉄道押収

なった。このように青島攻略は、中国を中心とした東アジアの情勢と、日本の意図などの背景を持つている。

●新型兵器の実験場

第一次大戦はそれまでの戦争とは異なり、科学技術が主役となつた。日本が青島攻略に投入した兵器にもそれが見え、新型兵器の実験場とさえ言われる。飛行機、トラック、新式の大砲や銃、機関銃、無線機などがそれであり、戦費も高額にのぼつた。

●外国軍との連携

本戦争には英國軍（英國兵およびインド・シーカ兵）が参戦している。これは日本軍の牽制のためであるが、日本にとつてははじめての他国軍との共同作戦であった。

■大正三年 日独戦史写真帖（別巻1）
■解説「日独青島戦争」（別巻2）
■挿図、附表、附図（CD-ROMに収録）
(以上、下巻2に収録)

◇第五章 本防御線に対する攻撃準備
第一節 攻城砲兵及攻城器材の輸送、同前
進計画及軽便鉄道敷設計画
第二節 攻囲陣地占領後本防御線攻撃開始
前の情況及攻城諸計画
第六章 本防御線に対する攻撃
第一節 師団の攻撃部署及推進攻囲陣地の占領
第二節 砲撃開始及第一攻撃陣地の占領
第三節 第二攻撃陣地の占領
第六節 兵站一部の労山湾方面への転進及即墨方面兵站と連絡する迄自九月十二日至九月二十二日の情況
第七節 師団の敵本防御線攻撃準備期間及攻撃開始後陥落に至る迄自九月二

◇第六章 攻囲陣地の占領
(※以上、上巻1に収録)
第一節 作戦計画に伴う中央部の兵站施設
第二節 兵站経過の概要
第三節 独立第十八師団兵站部の施設計画及準備
第四節 龍口上陸及萊州付近に到る迄自八月二十八日至九月七日の情況
第五節 萊州付近より即墨付近に到る迄自九月八日至九月二十二日の情況
第六節 兵站一部の労山湾方面への転進及即墨方面兵站と連絡する迄自九月二十二日至九月二十二日の情況
第七節 師団の敵本防御線攻撃準備期間及攻撃開始後陥落に至る迄自九月二

第一節 作戦計画に伴う中央部の兵站施設
第二節 兵站経過の概要
第三節 独立第十八師団兵站部の施設計画及準備
第四節 龍口上陸及萊州付近に到る迄自八月二十八日至九月七日の情況
第五節 萊州付近より即墨付近に到る迄自九月八日至九月二十二日の情況
第六節 兵站一部の労山湾方面への転進及即墨方面兵站と連絡する迄自九月二十二日至九月二十二日の情況
第七節 師団の敵本防御線攻撃準備期間及攻撃開始後陥落に至る迄自九月二

第一節 山東鉄道会社一般の情況
第二節 山東鉄道押収に関する経過の概要
第三節 膜州の占領
第四節 金沢支隊の山東鉄道押収

第一節 山東鉄道会社一般の情況
第二節 山東鉄道押収に関する経過の概要
第三節 膜州の占領
第四節 金沢支隊の山東鉄道押収

第一章 戰争ノ原因

第一節 獨逸ノ東亞經營及青島ノ價値

第三第六参照

獨國カ世界的植民政策ヲ開始シタルハ最近ノ事ニシテ實ニ歐洲諸國ニ於ケル最ノ植民國ナリ是レ英佛等ノ盛ニ植民政策ヲ實現セシ十七八世紀ニ於テハ獨國內ノ關係ハ海外ノ發展ヲ許ササルニ起因ス然レトモ十九世紀ノ末葉獨逸帝國國基ノ堅確ナル建設ヲ終ルヤ茲ニ其世界的政策ノ銳鋒ヲ顯出シ來リ一千八百八十四年明治十七年西南阿弗利加ノ占領ヲ端緒ト爲シ東部阿弗利加又南洋ニ逐次其植民地ヲ増加スルニ至リシモ彼カ植民政策ニ於テ他ノ列國ニ後レシ關係上有望ナル植民地ハ當時既ニ英佛及其他ノ諸國ニ分割セラレ復雄飛活動スル餘地ナク其ニ洋ノ東西ヲ睥睨シ索メテ支那ヲ得タリ四億ノ蒼生四百三十萬方哩ノ面積ヲ有シ天與ノ利源

本文見本(64%に縮小)

KINOKUNIYA ON DEMAND SERIES

秘大正三年

日独戦史

全4巻 別巻2巻 CD-ROM 1枚

■監修・解説 斎藤聖二 茨城キリスト教大学教授

A5判・A4判上製クロス装

●全7巻 摂定価:本体150,000円+税 ISBN4-87802-060-1 C3321

2001年
3月刊行

各巻本体価格

*表示価格は外税です

- 第1巻:上巻 1 25,000円 ISBN4-87802-053-9 C3321
- 第2巻:上巻 2 25,000円 ISBN4-87802-054-7 C3321
- 第3巻:下巻 1 25,000円 ISBN4-87802-055-5 C3321
- 第4巻:下巻 2 25,000円 ISBN4-87802-056-3 C3321
- 別巻1:大正三年日独戦史写真帖
10,000円 ISBN4-87802-057-1 C3321
- 別巻2:解説「日独青島戦争」
10,000円 ISBN4-87802-058-X C3321
- 別巻3:挿図/附表/附図(CD-ROM)
30,000円 ISBN4-87802-059-8 C3321



※オンデマンド出版のため、ご注文から約一ヶ月の製作期間が必要となる場合がございます。

●発行

ゆまに書房

株式会社 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-6
Tel.03 (5296) 0491 Fax.03 (5296) 0493

●発売

紀伊國屋書店

取扱店

KINOKUNIYA ON DEMAND SERIES ●シリーズ 戦後処理とアジア●

◆第Ⅰ期 日本人の海外活動に関する歴史的調査

[監修] 小林英夫 全23巻 ●摂定価:本体468,000円+税
敗戦直後の日本(政府)はどのような認識でアジアを捉えていたのか。
戦後日本とアジアの関わりを考える上で極めて重要かつ不可欠の史料。

◆第Ⅱ期 海外引揚げと在外財産補償問題に関する史料

アジア各地域からの引揚げと在外財産関係史料を地域ごとにたどることで『日本人の海外活動に関する歴史的調査』を補完。
(近日刊行予定・定価等は未定)

【本書をおすすめしたい方】

軍事史、日本近代史、植民地史、国際関係史、中国近代史、東アジア史等の研究機関及び研究者。大学図書館など

ON
KINOKUNIYA
ON DEMAND
SERIES